

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長町そら			
○保護者評価実施期間	令和7年1月23日			～ 令和7年2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年2月19日			～ 令和7年2月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達に合わせた課題の提供、他事業所との合同企画	自立を目指し、出来る事を増やし自分自身に達成感を持つもらう様な課題提供を行っています。スタッフの意見や保護者様とも検討しながらオーダーメイドの課題を作っています。 3放デイ合同大運動会の開催や福祉まつりウエルフェアへの参加も行っています。	定期的に課題内容を検討した上に保護者様の意見も取り入れています。更に日々見通しを立てれる様にしています。 他事業所との交流は、子ども達を中心に役割を持ってもらい取り組んでいます。
2	計画的な集団活動と音楽療法、長期休みの体験学習の充実	集団活動は1週間のプログラムを決めて行っています。それにより、子ども達も見通しを立てる事ができ、その活動を楽しみにする様子も伺えます。また隔週木曜日に講師を招いて音楽療法を行ない、集団活動でのルールや役割を持つ責任感や達成感も学んでいます。長期休みには体験学習を導入して、失敗を恐れず挑戦する人材学習に取り組んでいます。	日々のプログラムの内容に変化をもたらせる事と飽きない時間設定を考慮しながら日常生活の中で「できる」事が増える様な取り組みを考えています。 体験学習は、自分だけではできない事も協力すれば出来る様な体験を積んでいくことを重視しています。
3	職員同士のコミュニケーション、風通しの良い環境	日々のミーティング（始礼・終礼）時に個々の療育について共有を行うと共にケース会議、研修、避難訓練を実施し、職員の質の向上に努めています。	事業所の組織図を作成して仕事の分担を決め、誰もが責任をもって仕事に取り組める様にしています。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりの少なさ	ボランティアさんが来てくれているものの、地域と一緒に何かを行う事もない状況です。またマンションの為、町内会にも入っておらず発信力が弱いのも要因だと考えます。	ボランティアさんの受け入れは継続し、他にも地域の方と交流できる行事を考えていけたらと思います。
2	非常時の対応に関する情報発信	各種マニュアルは策定しており、避難訓練も定期的に行っているものの、保護者様に伝わっていない様に思われます。おたより等で発信していますが、伝わりにくい状況の様です。	一度だけの発信にとどまらず、回数を繰り返すと共に面談時にしっかりと伝えていく事が必要と思われます。
3			